



2021年10月11日

各 位

会 社 名 ローツェ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 藤代 祥之  
 (コード：6323・東証第一部)  
 問合せ先 取締役管理部長 岩瀬 好啓  
 (TEL：084-960-0001)

## 第2四半期連結累計期間の連結業績予想と実績値との差異、 通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

2021年4月12日に公表いたしました2022年2月期第2四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年8月31日)の連結業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において決議した、2021年4月12日に公表しました2022年2月期(2021年3月1日～2022年2月28日)の通期連結業績予想及び1株当たり配当予想の修正について、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異

2022年2月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異(2021年3月1日～2021年8月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
					円 銭
前 回 予 想 (A)	29,598	5,370	5,300	4,236	245 16
実 績 値 (B)	29,499	6,681	7,272	5,498	318 20
増 減 額 (B-A)	△99	1,311	1,972	1,262	—
増 減 率 (%)	△0.3	24.4	37.2	29.8	—
(ご参考)前第2四半期実績 (2021年2月期第2四半期)	24,719	4,747	4,502	3,290	190 39

#### (業績予想と実績の差異理由)

連結売上高につきましては、世界的な半導体・電子部品の不足に伴い、部材の調達に厳しい状況が続きましたが受注予測に基づいた先行手配を行うことにより長納期部品にかかるリスクを最小限に抑えることができ、概ね予算通り推移しました。一方、損益面につきましては、部品調達コスト、輸送コストの増加による利益面への影響が想定を下回る結果となりました。これにより営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも前回予想を上回る結果となりました。

## 2. 通期連結業績予想の修正

2022年2月期通期連結業績予想の修正（2021年3月1日～2022年2月28日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想（A）	60,344	10,208	10,066	7,909	円 銭 457 70
今回予想（B）	65,013	14,360	14,809	10,976	635 15
増減額（B－A）	4,669	4,152	4,473	3,067	—
増減率（%）	7.7	40.7	47.1	38.8	—
（ご参考）前期実績 （2021年2月期）	50,803	9,314	8,487	6,470	374 40

（修正の理由）

連結売上高につきましては、旺盛な半導体需要に伴い前回予想を上回る見込みであります。また、売上増加に伴う利益増加により営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前回予想を上回る見込みであります。

## 3. 配当予想の修正

2022年2月期配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年4月12日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 45.00
今回修正予想	—	—	—	65.00	65.00
当期実績	—	0.00	—	—	—
前期実績 (2021年2月期)	—	0.00	—	30.00	30.00

（修正の理由）

当社の2022年2月期の期末配当金は、2021年4月12日に公表しました1株当たり45円を予定しておりましたが、このたび「2. 通期連結業績予想の修正」のとおり、前回予想を上回る業績が見込まれるため、20円増配し、1株当たり65円に修正いたします。

なお、本件につきましては、2022年5月開催予定の第37期定時株主総会に付議する予定であります。

以 上